

床スラブはつらつ排水管更新

ブライトワークス「JUST工法」が特許取得

ブライトワークス いる、床スラブをはつ法」が7月19日付で特(本社千葉県市川市) らずに新しい排水管に 許を取得した。が実施し注目を浴びて 更新する「JUST工 同工法は排水機材メ

ーカーの小島製作所で、従来の工事で問題(本社愛知県名古屋) になっていた騒音・振(市)との共同開発工法 動・粉じんといった問に設置すれば、床スラ

題を一挙に解決した画期的な工法となっている。

工法の心臓部がワインコルク栓抜きのような、管を回転させて引き抜く特殊な「手動油圧式プルッシュジャッキ」だ。このジャッキを切断した排水立て管に設置すれば、床スラ

ブから楽々引き抜ける。油圧ポンプを手動式にしたのもミソ。ジャッキ本体から離れた位置で動作させることができるため、ジャッキを設置できるスペースさえあれば、狭小スペースや段差などの環境でも奥行き、幅、高さに制限されずに管を引き抜くことが可能となった。

工法心臓部のもうひとつが、小島製作所が開発した更新用の高性能排水管継ぎ手だ。既存の排水管より口径を1ミリ小さくさせた排水管継ぎ手で、既存管を引き抜いた後に、ピツタリと挿入できる。音



手動油圧式プルッシュジャッキが設置できるスペースさえあれば、狭小スペースでも引き抜きが可能だ



低騒音、低振動、低粉じん
床スラブに埋め込まれている排水管を楽に引き抜ける

改修工事は住民が生活している中で、中には高齢者や病気で療養中の居住者もいるだけに、工事中の「住民ストレス」を大幅に減少させたJUST工法はまさに時代が求めた工法の一つ、といえよう。